vinetur

ニュージーランドのワイン輸出、10月は2.1%減

輸出量は9.0%減の2,990万リットル。バルク輸送から瓶詰めワインへのシフトを反映

2026年11月23日（月）



2026年10月、ニュージーランドのワイン輸出は前年同月を下回った。輸出額に比べて出荷量が大幅に減少しており、瓶詰めワインへのシフトが進む一方、バルク輸送が縮小したことを反映している。

NZ Wine Exportsが11月23日（月）に発表した報告書によると、2026年10月のワイン輸出額は本船渡し（FOB）価格で2億1,310万NZドルとなり、2025年10月の2億1,770万NZドルから2.1%減少した。輸出量は9.0%減の2,990万リットルで、前年同月の約3,290万リットルから減少した。

金額と数量の減少幅の差により、ワイン全体の平均輸出額は1リットル当たり7.13NZドルとなり、2025年10月の6.63NZドルから上昇した。ただし、これは全般的な価格上昇を示すものではない。報告書によると、月間の輸出構成は高付加価値の瓶詰めワインに傾き、低価格帯のバルクワインが

減少した。その結果、主要な瓶詰めワイン自体の平均輸出額が下がったにもかかわらず、全体の平均額は上昇した。

スパークリングワインを除く、容量2リットル以下の容器に入った非発泡性瓶詰めワインの輸出額は、2026年10月に1億6,570万NZドルとなり、前年同月の1億4,900万NZドルから増加した。同カテゴリーが月間輸出額に占める割合は77.7%で、2025年10月の68.5%から9.2ポイント上昇した。平均輸出額は1リットル当たり10.07NZドルとなり、前年同月の10.73NZドルから下落した。

報告書で容量10リットル超の容器に入れて出荷されるワインと定義されるバルクワインは、これとは逆の動きとなった。2026年10月の輸出額は4,510万NZドルで、2025年10月の6,710万NZドルから減少した。月間輸出額に占める割合も30.8%から21.2%に低下した。バルクワインの輸出量は1,890万リットルから1,320万リットルに減少し、平均輸出額は1リットル当たり3.43NZドルだった。

スパークリングワインの2026年10月の輸出額は230万NZドルで、月間総額に占める割合は小さかった。これらの数字が示すのは、単純な価格上昇ではなく、輸出構成の変化だ。輸出全体に占める瓶詰めワインの割合が高まったことで、主力の瓶詰めワインカテゴリー内の平均額は前年を下回ったにもかかわらず、1リットル当たりの全体平均額は上昇した。

名目ベースで見ると、10月の輸出額は直前の数カ月を上回った。2026年8月の2億970万NZドル、9月の2億580万NZドルを超え、季節調整前で9月から約730万NZドル、約3.5%増加した。それでも、2025年10月の2億1,770万NZドル以来の高水準にとどまり、前年同月の水準は下回った。

2026年10月までの12カ月間におけるニュージーランドのワイン輸出額は21億3,900万NZドルで、直前の12カ月間から2.4%減少した。このうち、スパークリングワインを含む瓶詰めワインは3.9%増の16億1,200万NZドルだった一方、バルクワインは17.6%減の5億2,600万NZドルとなった。直近3カ月では、瓶詰めワインが12.1%増の4億7,990万NZドル、バルクワインが11.8%減の1億4,870万NZドルだった。

2026年10月も米国はニュージーランド産ワインの最大市場で、輸出額は8,670万NZドル、月間総額の40.7%を占めた。2026年10月までの12カ月間の対米輸出額は7億3,830万NZドルで、4.7%減少した。直近3カ月の輸出額は2億360万NZドルで2.0%増加した一方、数量は8.0%減だった。

2026年10月の第2位市場は英国で、輸出額は3,340万NZドル、総額の15.7%を占めた。12カ月間の輸出額は6.4%減の4億2,180万NZドルだった。オーストラリアがこれに続き、月間輸出額は3,210万NZドルで全体の15.1%、12カ月間の累計は8.5%減の3億260万NZドルだった。カナダ向けは1,650万NZドルで、10月の輸出総額の7.7%を占めた。12カ月間では1.8%増の1億9,390万NZドルとなり、主要市場の中で数少ない増加市場の一つだった。

2026年10月までの12カ月間で、伸びの大きかった輸出先として中国が目立った。輸出額は45.7%増の8,930万NZドルとなり、直近3カ月では113.6%増の3,080万NZドルと2倍を超えた。2026年10月の対中輸出額は910万NZドルで、月間輸出総額の4.3%を占めた。ドイツ、アイルランド、シンガポールも12カ月間で増加し、輸出額はそれぞれ5,880万NZドル、5,450万NZドル、3,380万NZドルだった。スペインは12カ月間の輸出額が870万NZドルと絶対額では小規模だが、金額は93.0%増加した。

同じ期間に減少した市場もある。韓国向けは16.2%減の4,530万NZドル、香港向けは19.1%減の1,630万NZドルだった。アラブ首長国連邦向けは48.0%減の470万NZドルとなった。フランス向け

は数量が6.4％増加した一方、12カ月間の輸出額は8.4％減の3,560万NZドルとなり、金額と数量が異なる方向に動いた例となった。

地域別では、2026年10月までの12カ月間で北米が最大の輸出先地域となり、輸出額は3.4％減の9億3,600万NZドルだった。欧州は2.2％減の6億6,040万NZドルで、数量は5.6％増加した。オセアニアは8.1％減の3億940万NZドルだった。アジアは主要地域で唯一、顕著な伸びを示し、輸出額は10.7％増の2億3,020万NZドル、直近3カ月では31.3％増となった。

NZ Wine Exportsによると、2026年10月にニュージーランド産ワインは62の市場に輸出され、2025年10月の56市場から増加した。報告書は、Stats NZの海外商品貿易記録にあるHS 2204のワイン輸出データをニュージーランドドル建てで集計したものだという。また、2026年10月の数値は暫定値であり、遅れて提出された申告の処理に伴って改定される可能性があるとしている。本記事では、基礎となる公式統計ファイルを独自に検証していない。